

従業地・通学地集計結果の概要 ー昼間人口及び通勤・通学人口ー

この概要は、平成 19 年 3 月 28 日総務省統計局において公表された、平成 17 年国勢調査の従業地・通学地集計その 1（従業地・通学地による人口の基本的構成及び就業者の産業別構成に関する結果）を集約したものです。

従業地・通学地集計は、就業者や通学者の住居と仕事先あるいは通学先との日々の往復移動の実態を明らかにし、通勤・通学人口の大きさ、市区町村間の人口の流れ、各市区町村の昼間人口などを把握するためのものです。

「昼間人口」及び「通勤・通学人口」について

- 1 「昼間人口」とは、常住人口に通勤・通学に伴う人口の流入・流出を加除して算出した「従業地・通学地による人口」である。これに対し、「常住人口」とは「常住地による人口」であり、昼間人口と比較する意味で「夜間人口」ともいう。（通勤者の中には夜間勤務者等もいることから、昼間人口、夜間人口といっても、ある地域の特定の時間帯の人口ではない。）従って「昼間人口」と「夜間人口」は全国の総数では一致する。

$$\begin{aligned} \text{A市の昼間人口} &= \text{A市の常住人口（夜間人口）} \\ &\quad - (\text{A市から他市区町村へ通勤・通学している者}) \\ &\quad + (\text{他市区町村からA市へ通勤・通学している者}) \end{aligned}$$

- 2 従業地・通学地集計における「常住人口」及び「昼間人口」には、年齢不詳の者を含まない。
- 3 「昼夜間人口比率」が、100を超えているときは通勤・通学人口の流入超過、100を下回っているときは流出超過を示している。

$$\text{A市の昼夜間人口比率} = (\text{A市の昼間人口} / \text{A市の常住人口}) \times 100$$

全国の概要

○ 昼間人口が常住人口を超えるのは15都府県で、差が最も大きいのは東京都（2,562千人）

都道府県別昼夜間人口差

（単位：千人）

順位	1位	2位	3位	4位	5位	22位	43位	44位	45位	46位	47位
都道府県名	東京都	大阪府	愛知県	京都府	広島県	高知県	奈良県	兵庫県	千葉県	神奈川県	埼玉県
昼夜間人口差	2,562	482	122	20	9	△1	△161	△271	△694	△848	△877

○ 昼間人口の増加した都道府県は、23都府県

順位	1位	2位	3位	4位	5位	29位	43位	44位	45位	46位	47位
都道府県名	沖縄県	神奈川県	千葉県	愛知県	埼玉県	高知県	長崎県	島根県	青森県	和歌山県	秋田県
昼間人口増加率	3.98	3.56	3.05	2.95	2.90	△ 2.03	△ 2.56	△ 2.59	△ 2.75	△ 3.28	△ 3.66

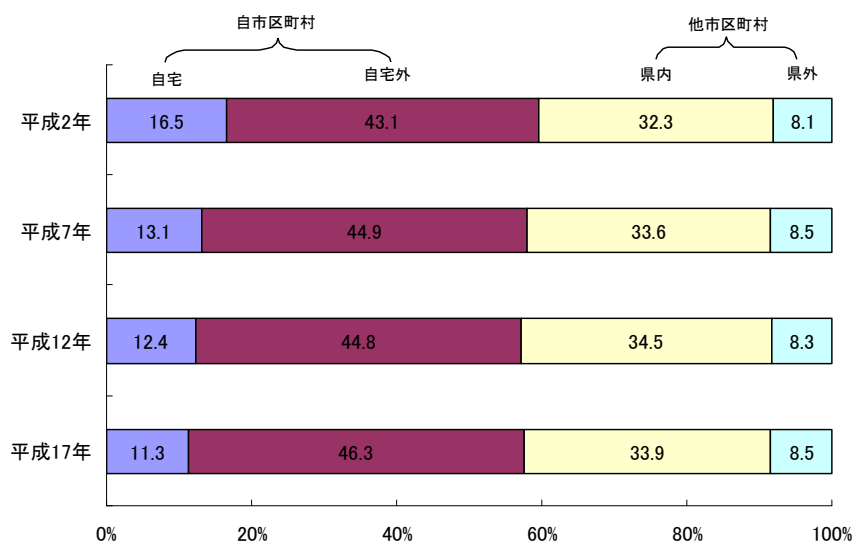
○ 15歳以上の通勤・通学人口は6071万人で139万人の減少

15歳以上の就業者・通学者（6843万人）のうち、通勤・通学人口は6071万人で、平成12年（6211万人）と比べて139万人、2.2%の減少となっている。

従業地・通学地が自市区町村の割合をみると、平成12年の44.8%から46.3%に、他県の割合は8.3%から8.5%に上昇しているのに対し、県内の他市区町村の割合は34.5%から33.9%への低下している。

（図1）

図1 従業地・通学地別15歳以上従業者・通学者の割合の推移（全国）

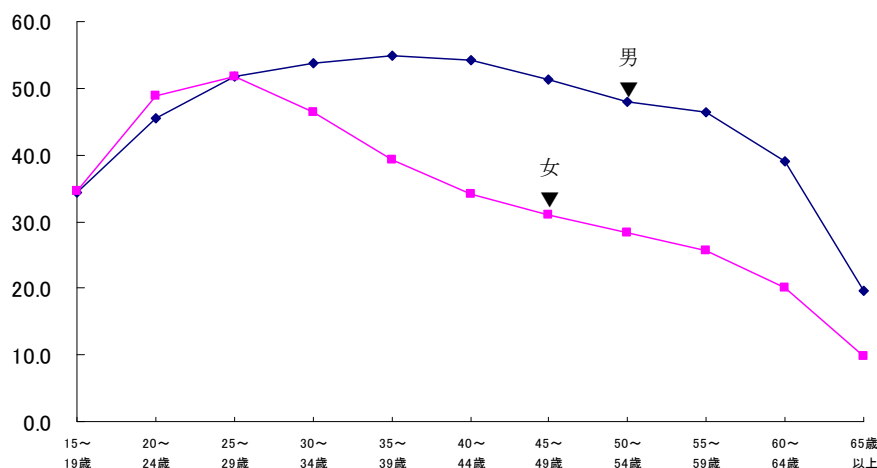


○ 他市区町村への通勤者の割合は男性で低下、女性で上昇

15歳以上の就業者のうち従業地が他市区町村である者の割合は、男性が46.8%、女性が34.3%で、平成12年に比べ男性は0.5ポイント低下、女性は0.4ポイント上昇している。

年齢階級別にみると、男性は他市区町村の割合が35～39歳で54.9%と最も高く、女性は他市区町村の割合が25～29歳で51.7%と最も高くなっている。（図2）

図2 年齢、男女別従業地が他市区町村である就業者の割合
—全国（平成17年）



高知県の概要

○ 昼間人口が常住人口を超えるのは17市町村で、差が最も大きいのは高知市(14,488人)

順位	1位	2位	3位	4位	5位	～	41位	42位	43位	44位	45位
市町村名	高知市	南国市	四万十市	宿毛市	須崎市	～	佐川町	土佐市	春野町	野市町	いの町
昼夜間人口差	14,488	2,475	1,577	778	582	～	△ 1,740	△ 2,252	△ 2,314	△ 3,413	△ 3,879

○ 昼間人口の増加した市町村は、7市町村

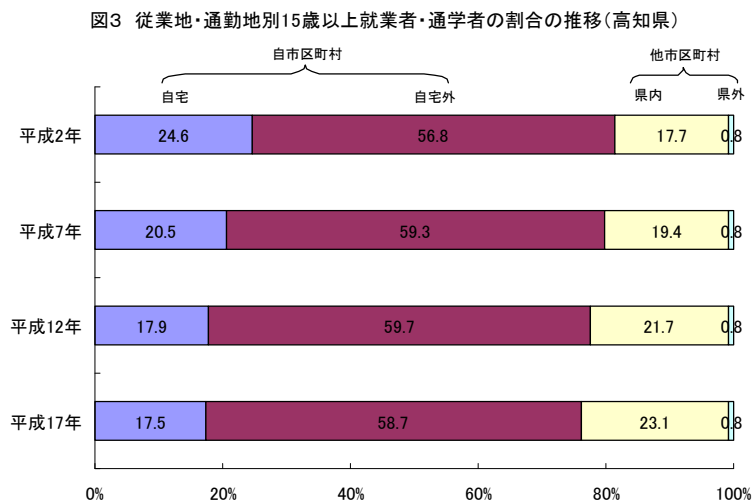
市町村別昼間人口の増加率

順位	1位	2位	3位	4位	5位	～	41位	42位	43位	44位	45位
市町村名	野市町	吉川村	春野町	日高村	南国市	～	大正町	室戸市	東洋町	物部村	大豊町
昼間人口増加率	10.69	6.81	3.60	2.17	2.13	～	△ 9.85	△ 10.57	△ 12.84	△ 13.84	△ 14.28

○ 高知県の通勤・通学者は21,534人減少

高知県の15歳以上の就業者・通学者(409,873人)のうち、通勤・通学人口は338,325人で平成12年(359,859人)と比べて、21,534人、6.0%の減少となっている。

従業地・通学地が自市町村の割合をみると、58.7%であり全国の46.3%と比べ12.4ポイント多くなっている。(図3)



○ 高知県の15歳以上の就業者のうち従業地が他市町村である者の割合は、男性が24.4%、女性が19.5%であり、全国と比べると男性は22.4ポイント、女性は14.8ポイント低くなっている。年齢階級別にみると、男性は他市町村の割合が、30～34歳で30.4%で最も高く、女性は、他市町村の割合が25～29歳で29.1%で最も高くなっている。(図4)

図4 年齢、男女別従業地が他市町村である就業者の割合
—高知県(平成17年)

